

火山灰

—特徴と取扱い—

平成 26 年 11 月 25 日、阿蘇中岳第一火口より噴火が発生し、以降断続的に火山灰を出す活動が続いています。この機会に火山灰の特徴や取扱いについて知りましょう。

阿蘇ジオパーク推進協議会 事務局



阿蘇中岳の噴火 平成 26 年 11 月 26 日 16 時頃

■ 火山灰とはどんなものですか？

火山から噴出されたもののうち、直径 2mm 以下のものを「火山灰」としています。

火山灰は、火口底やマグマの通り道周辺の古い岩石の破片や、マグマそのものの破片（火山ガラス、鉱物の結晶など）で構成されていて、ある程度「硬い」物質です。

そのため、植物を燃やした時の灰や、ほこりとは異なり、対応には注意が必要です。

噴火とは、一般に火口から火山ガス、液状の溶岩や固形物（火山灰や火山レキなど）が火口外に噴出することを言います。比較的穏やかなもの、爆発的なものなど、さまざまな噴火のしかたがあります。

阿蘇山（中岳火口）は活動が活発化すると多量の火山灰を放出する「灰噴火」を起こすことがあります。爆発的な噴火にはなりにくいものの、火山灰による被害が度々発生しています。

平成 26 年 11 月からの噴火では約 20 年ぶりに多量の火山灰を放出しています。

■ 火山灰を吸い込んでもいいの？

健康な方であれば、微量を吸い込んでも問題ないとされていますが、多量に吸い込むと健康に影響がある場合があるので、火山灰が多く降っているときはできるだけ外出を控えるか、マスク（防じんマスク推奨）をした方がいいでしょう。マスクが無い場合はハンカチや衣服で口と鼻を覆うだけでも効果があります。特に、気管支や肺の持病、ぜんそく等をお持ちの方は注意が必要です。

（裏面へ続きます）

■ 火山灰が目に入ったら？

火山灰は、細かくとがった形をしています。もし目に入ったら、こすらず洗い流しましょう。コンタクトレンズよりメガネの方がいいでしょう。

■ 火山灰は細かい！電子機器への注意

非常に細かい火山灰は、電子機器の隙間から入り込むことがあり、内部にダメージが生じ、故障する場合があります。火山灰が降っている状況下での使用は、ビニール等でしっかり覆って使用するなどの対策が必要です。

■ 自動車と火山灰

火山灰は固く鋭いので、車に付着した火山灰をブラシでこすると細かい傷をつけることがあります。火山灰をまず水で洗い流してから洗車するようにしましょう。フロントガラスに付着した火山灰は、そのままワイパーでこすると傷をつけることがあるので、ウォッシャー液等で洗い流してからワイパーで取り除くと傷がつきにくいです。また火山灰が積もると滑りやすくなるので、運転には注意しましょう。

■ 積もった火山灰

火山灰は積もると意外に重く、特に、雨が降り重量を増すと屋根を押しつぶすこともあります。また、排水溝を詰まらせる原因にもなります。家の周囲に積もった火山灰は乾燥した状態だと土ぼこりのように巻き上がるので、少し湿らせると取扱いしやすくなります。

■ 野菜に付着した火山灰

野菜に付着した火山灰は流水でよく洗い流すと問題なく食べることができます。

■ 火山灰が多量に降った後の雨に注意

火山灰が降った後に多量の雨が降ると、「土石流」を引き起こし、被害をもたらすこともあります。上流域に火山灰が積もっていると予想される溪流には、大雨の際には近づかないでください。

■ 自宅は火口から何キロ離れている？

この機会に、自宅や職場、観光施設、学校が火口からどのような距離にいるのかを知ってください。火山灰は風下に流れて降ってきます。風向きに注意しましょう。

火山灰とうまく付き合っていくために、この機会に自分たちの地域の特徴を知りましょう。自治体から提供されている防災関係資料には十分目を通しておいてください。